

各種健診・がん検診 一覧表

◆ 基本の健診 ◆

検査名	対象者	自己負担額	検査内容
特定健診	40～74 歳 の国保加入者	無料 10,000 円 相当の 検査内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身体計測 (体重・身長など) ■ 尿検査 (尿蛋白・尿糖・尿潜血) ■ 心電図検査 ■ <u>眼底検査</u> ■ 医師診察 ■ 保健相談
後期高齢者 健診	75 歳以上の方		
若年健診	30～39 歳の方	2,000 円	

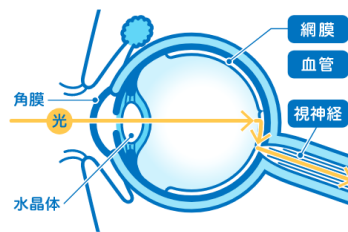
R6～眼底検査が全員実施になりました

眼底は、外から血管を直接見ることができる唯一の場所です。眼底検査で脳などの血管の状態(動脈硬化)が予測できます。

参考：公益社団法人 日本眼科医会

Q. 眼底検査で何を調べるの？

A. 血管や網膜、視神経を調べます。



Q. 眼底検査の方法は？

A. 眼底鏡や眼底カメラを使います。



◆ がん検診 ◆ **お得**…令和6年度からお安くなっています

検査名	自己負担額	対象者	検査内容
結核・肺がん検診	500 円 お得	40 歳以上の方	胸部 X 線撮影
喀痰検査	500 円	50 歳以上の方 喫煙指数 600 以上の方のみ	検体採取(喀痰 3 日分) ご希望の方は 6,7,9 月健診初日に受診下さい
胃がん検診	1,500 円 お得	40 歳以上の方	胃部 X 線撮影(バリウム検査) ※6,7 月の初日と 11 月はありません
大腸がん検診	500 円		検体採取(便 2 日分)
前立腺がん検診	1,800 円	50 歳以上の男性	血液検査(PSA 特異抗原)
子宮がん検診	1,500 円 お得	20 歳以上の女性 前年度に村の子宮がん検診を受けていない方のみ	子宮頸部細胞診、内診
乳がん検診	2,000 円	40 歳～74 歳の女性 前年度に村の乳がん検診を受けていない方のみ	乳房 X 線撮影(マンモグラフィ)

◆ その他の検査 ◆

検査名	自己負担額	対象者	検査内容
肝炎検査 (当日申込)	500 円	40 歳以上の方 過去に肝炎検査を受けていない方のみ	血液検査 (B 型・C 型肝炎ウイルス抗体)

- 対象年齢は、すべて年度末(令和8年3月31日)の年齢で表記しています。
- がん検診については、原則料金の3分の1相当を自己負担額として頂戴しております。

がん検診のメリット・デメリット

がん検診は、自覚症状がない状態で行われます。早期がんやがんになる前の異常細胞を早期発見・早期治療することにより、がんによる死亡率を減少させるという大きなメリットがあります。一方で、デメリットもあります。これらをよく理解したうえで、健康と安心のためにがん検診を受診しましょう。



白馬村の集団がん検診は、がんによる死亡率の減少を目的とした公共的な予防対策事業です。そのため、国のがん検診ガイドラインで有効性が確立した推奨グレードA・Bの方式の検診を採用しています。

用語の解説

推奨グレード … A：利益＝死亡率減少効果が不利益を確実に上回ることから、実施を勧める
B：利益＝死亡率減少効果が不利益を上回る(Aに準じる)ことから、実施を勧める

肺がん検診：肺X線検査

メリット 推奨グレードB

針を刺したり、薬剤を使用したりしないため、比較的体への負担が少ない検査です。

デメリット X線による被ばく(0.05ミリシーベルト)がありますが、1年間に自然界から受ける被ばく線量の50分の1程度です。

胃がん検診：胃X線検査

メリット 推奨グレードB

胃潰瘍やポリープなどの他疾患も発見できます。

デメリット X線による被曝(0.8ミリシーベルト)は、1年間に自然界から受ける被ばく線量の3分の1程度です。バリウムの誤飲や便秘などが起きることがあります。



大腸がん検診：便潜血検査

メリット 推奨グレードA

便の検体検査であるため、副作用や事故がほとんどなく、身体的には負担がかかりません。比較的安価に検査を行うことができます。

デメリット 良性腫瘍や炎症などでも出血が認められることがあるため、必ずしも大腸がんの診断には結びつきません。「異常なし」の場合でも、大腸がんがないとは言い切れません。

子宮がん検診：

子宮頸部細胞診・内診

メリット 推奨グレードA

がんになる前の異常細胞の段階で見つけることもできるため、子宮を残す治療や将来の妊娠も可能となります。薬剤や放射線を使用せず、比較的体への負担が少ない検査です。

デメリット 一般的に痛みは少ないと言われていますが、細胞採取時や内診時の痛みの感じ方には個人差があります。検査後、少量の出血のため赤いおりものが出ることがあります。

女性のみ

乳がん検診：

乳房X線検査(マンモグラフィー)

メリット 推奨グレードB

しこりや石灰化のある小さな乳がんだけでなく、乳房の良性疾患なども発見することができます。

デメリット X線による被曝(0.6ミリシーベルト)は、1年間に自然界から受ける被ばく線量の4分の1程度です。乳房を平たく挟むため、痛みを伴うことがあります。乳腺密度の高い人や若い人の場合は、病変を見つけづらいことがあります。

女性のみ

◆ すべてのがん検診に共通 ◆

どんなに優れた検査でも、100%の精度ではありません。少しでも精度を高めるために努力や工夫をしていますが、がんの場所や種類によって見つけづらいことがあります。



◆ お問い合わせ ◆

白馬村役場 健康福祉課 保健師
電話：0261-85-0713 (直通)